

新潟の独特遺産である六斎市を通じた地域振興メニュー開発

NPO 新潟みなとクラブ

1. 研究の背景と目的

新潟県の信濃川・阿賀野川流域・日本海沿岸等に定期市(六斎市)が60か所以上存在する。特に水運・海運の港のあった在郷町や湊町に多数存在する。六斎市は近代まで全国に存在したが、現在では新潟県・秋田県・愛知県等一部地域だけで、多数存在するのは新潟県のみである。新潟県の六斎市には現在も多数の買い物客が訪れ、中には外国人の観光客もみられ、地域振興メニューとして有望と考えられる。

一方新潟県において、近年六斎市に関する全体的調査は実施されていない。出店者も高齢化し、大型商業施設の進出等のため、現在のうちに記録に残すことが急務である。

このため、新潟の独特遺産である六斎市について、今回県内の現状等の悉皆調査、全国の六斎市の分布調査を通して、新潟の六斎市の独特性を明らかにし、マップを作成するとともに、地域振興メニューとしての可能性を探るための内陸水運と関連付けた「六斎市ツアー(社会実験)」を企画・分析し、地域振興メニューを提案することを目的とするものである。

注)市には、毎日市、週市(曜日開催)、六斎市(月6回開催)、三斎市(月3回開催)、年市(毎年特定の日で開催)
六斎市とは、2, 7, 12, 17, 22, 27のように、2と7の付く日、月に6回に市が立つ定期市。中世より見られる。
今回の調査対象は、これら市から、毎日市、週市、年市を除いた定期市。

2. 研究内容

2-1. 研究の構成

研究内容として以下の項目を実施した。県内の定期市の悉皆調査と分析、「新潟からの六斎市買い物・交流ツアー」(実証実験)の企画・実施・分析を通じたツアー汎用版を開発、地域振興メニューを提案した。

- ・六斎市調査(全国)
- ・六斎市調査(新潟)
- ・地域振興実証実験(六斎市モニターツアーの実施)
- ・地域振興への考察

2-2. 六斎市調査(全国)

(1) 必要性

地域に特定した調査は時々なされているが、近年は全国的な調査は吉田¹⁾によりwebや文献等から全国的調査がなされている程度である。新潟県とともに定期市が残っている秋田県・愛知県に関する調査が少ない。

(2) 実施内容

以下の2項目を実施した。

①WEB調査

吉田の調査¹⁾では、近代、全国に多数の六斎市等定期市が存在していたことが判明したので、今回その中で現存していると考えられる地域の定期市をweb調査した。

②現地調査(秋田県・岩手県定期市調査) 実施日令和3年9月3日(金)から5日(日)

全国の中で新潟県と同様定期市が多数残っている秋田県横手盆地を中心に、定期市及び内陸水運の履歴等を調査した。(写真1)

行程 盛岡→角館→大曲→横手→沼館→浅舞→十文字→増田→西馬音内→道の駅十文字



写真1 松田朝市の様子

調査内容としては、現地踏査を実施した。増田朝市については、現地観光協会会長から現地案内を受け、ヒアリングを実施した。

(3) 結果と課題

全国の web 調査でわかったことは以下の通りである。

①web で調べた結果、三河、秋田地方には多数の定期市が残っている。名称、開市場所も地方によりかなり異なる。たとえば、岩手・米代川地域は「市日」、横手盆地は「朝市」である。

②三河地方については、歴史も不明なところが多く現地調査が必要である。

秋田地方での現地調査結果、判明したことは以下の通りである。

①定期市の振興に対する行政の対応が多数みられる。たとえば、定期市の振興のため、道路以外の用地確保、駐車場、トイレ、屋根等の環境整備なされている。また、定期市の歴史、市神など市の成立等に関する看板等が多数見られる。

②河川等を利用した内陸水運と町の成り立ちに関する説明の看板等が多数みられる。

③web やテレビでの地域紹介では、町並みとともに六斎市が出てくる。

④定期市は、近年、開催市数の減少、出店者、客の減少が著しい。

⑤減少の理由として、ショッピングセンターのほかに直売所、特に道の駅の影響が大きい。

⑥まちづくり等熱心な人が必要である。

課題としては、もう一つの代表的地域である愛知県三河地域について、歴史も不明なところが多く現地調査が必要である。

2-3. 六斎市調査(新潟)

(1) 必要性

六斎市等定期市は新潟県内に多数存在するが、近年新潟県内の定期市の全体的調査はなされていない。さらに出店者も高齢化し、大型商業施設の進出等のため、出店者や購買客も減少し、現在のうちに記録に残すことが急務である。

(2) 実施内容

実施項目と内容は以下の通りである。

①新潟県に六斎市が多数存在する理由

石原の論文²⁾より調査した。

②区役所ヒアリング(北、江南、秋葉区)(今後の出店者数予測も含む)

六斎市ツアーの対象となる亀田・小須戸六斎市が存在する新潟市江南・秋葉区役所(R3.8.3火)、葛塚市、松浜市について先進的取り組みをしている新潟市北区役所(R3.11.12金)に対しヒアリングを実施した。

③調査票による現況調査

7月から9月にかけて調査票による調査を69箇所の市について実施した。新潟みなとクラブ内に設置した実行委員会において以下の手順で実施した。(調査票表検討→みなとクラブ会員により各定期市調査票連絡先確認及び調査票送信→調査票回収および集計→秋田県現地調査を受け追加調査実施)

④六斎市調査の集計分析

調査対象69カ所のうち、回答のあった市全体61カ所、定期市54カ所、六斎市40カ所の3通りで集計分析した。

⑤六斎市調査のまとめ(出店者数、水運との関係、便利ツール検討)

既往の論文での調査結果、過去の調査結果³⁾、今回調査結果により、出店者数の推移の分析、水運との関係の再整理、便利ツールの検討を行った。

(3) 結果と課題

調査結果として以下のことがわかった。

(新潟県内に多数ある理由)

①従前は、蒲原平野での点在と競合回避、低い出店経費と高い現金取引、商品比較が可能、常設商店の「掛け売り」に対しての現金購入が大きな要因だった。近年は、低い出店経費と現金取引以外はその前提が大きく崩れつつある。

(県内六斎市調査結果) (図1)

①新潟県内には六斎市を含む市は61カ所あり、そのうち定期市は54カ所、さらに六斎市は40カ所あることがわかった。依然として県内には多数の六斎市があることがわかった。その魅力は、新鮮・旬な野菜・果物の出品等があると思われる。

②水運との関係については、六斎市はすべて河川沿いに立地していること、また7割以上が江戸時代から続く六斎市であることが確認できた。(表1)

③しかしながら廃止もしくは不明の市は、定期市で9カ所、六斎市で7カ所と2割近くが廃止されている状況にかなり厳しい状況である。

④六斎市等定期市においても定期市活性化への取り組みが半数の市でなされていることは注目値する。特に、従来の定期市が毎年の登録制が基本である中、登録外の者が出店を行っている「三条マルシェ」や「葛塚市」の取り組みは、六斎市等定期市のそもその形態を大きく変える要素を含んでいる。

(出店者数の推移) (図2)

①出店者数の推移については、昭和61年まではかなり高水準を維持していたが、平成20年、今回の令和3年になるに従い急激な減少が進んでいる。

②出店者数の減少の理由として、現地調査や調査票調査によると出店者の高齢化による要因が最大と思われる。若手の新規出店者が少なければ、高齢化による出店停止による減少が進む。これが六斎市等定期市衰退の最大の原因と思われる。

③さらに近年の商業形態の変化が大きいと思われる。これまでは常設店舗との差別化で六斎市等が存続できたが、近年の、スーパー、大型ショッピングモール、道の駅、農産物直売所等の出現により、支払い方式等商業形態等差別化ができなくなっている。

(便利ツールの作成)

①定期市に訪れる人の便利ツールとして、定期市一覧表及び定期市カレンダーを作成した。(表2 表3)

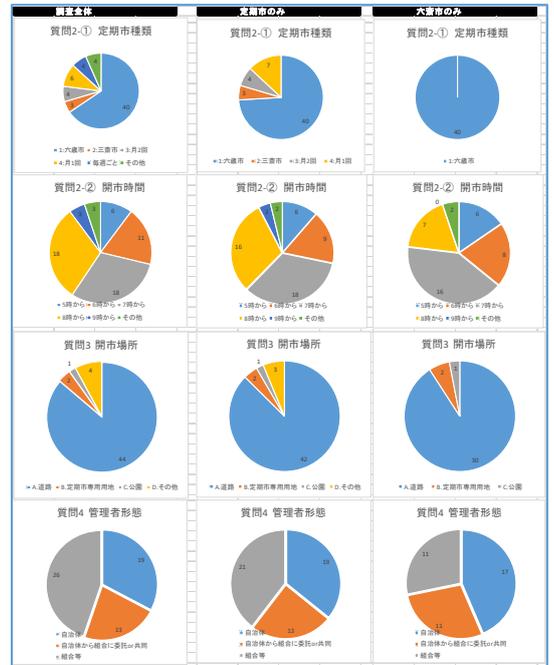


図1 定期市に関する調査票調査の集計結果

表1 定期市・六斎市と水運との関係

| 地域 | 全体 箇所 | 六斎市 | | 河川/河川+海 | | 河川/六斎市 | | (江戸以前+江戸)/六斎市 | |
|----|----------|-----|---------|---------|---------|--------|--------|---------------|--------|
| | | 箇所 | 割合 | 箇所 | 割合 | 箇所 | 割合 | 箇所 | 割合 |
| 新潟 | 14 | 13 | 14 100% | 14 | 100% | 13 | 100% | 11 | 85% |
| 下越 | 15 | 13 | 15 100% | 14 | 93% | 13 | 100% | 8 | 62% |
| 中越 | 12 | 10 | 11 92% | 11 | 100% | 10 | 100% | 7 | 70% |
| 上越 | 5 | 4 | 5 100% | 5 | 100% | 4 | 100% | 1 | 25% |
| 佐渡 | 8 | 0 | 8 100% | 2 | 25% | 0 | 0% | 0 | 0% |
| | 54 | 40 | 53 98% | 46 | 87% | 40 | 100% | 27 | 68% |
| | | | | | 100-75% | | 74-50% | | 49-25% |

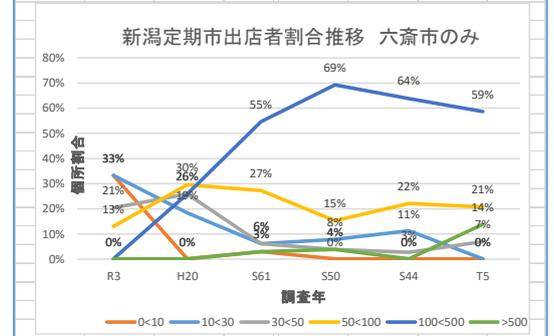
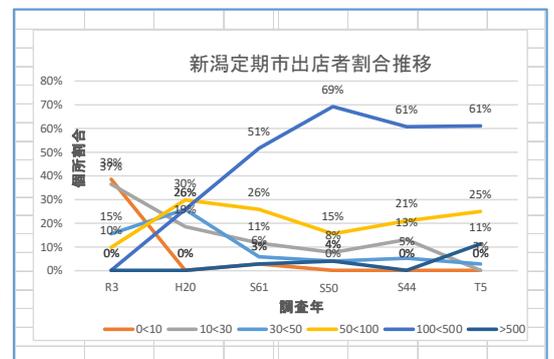


図2 六斎市出店者数割合の推移

表2 新潟県内定期市・六斎市一覧表

R3.11.13 新潟みなとクラブ

| 市町村 | 定期市 | 六斎市 | 開催日 | 開催時間 | 開催場所 | 備考 |
|-----|-----|-----|-------|-------|---------|---------|
| 新潟市 | 新潟市 | 新潟市 | 11/13 | 10:00 | 新潟市市民会館 | 新潟市市民会館 |
| 新潟市 | 新潟市 | 新潟市 | 11/20 | 10:00 | 新潟市市民会館 | 新潟市市民会館 |
| 新潟市 | 新潟市 | 新潟市 | 11/27 | 10:00 | 新潟市市民会館 | 新潟市市民会館 |
| 新潟市 | 新潟市 | 新潟市 | 12/4 | 10:00 | 新潟市市民会館 | 新潟市市民会館 |
| 新潟市 | 新潟市 | 新潟市 | 12/11 | 10:00 | 新潟市市民会館 | 新潟市市民会館 |
| 新潟市 | 新潟市 | 新潟市 | 12/18 | 10:00 | 新潟市市民会館 | 新潟市市民会館 |
| 新潟市 | 新潟市 | 新潟市 | 12/25 | 10:00 | 新潟市市民会館 | 新潟市市民会館 |
| 新潟市 | 新潟市 | 新潟市 | 1/1 | 10:00 | 新潟市市民会館 | 新潟市市民会館 |
| 新潟市 | 新潟市 | 新潟市 | 1/8 | 10:00 | 新潟市市民会館 | 新潟市市民会館 |
| 新潟市 | 新潟市 | 新潟市 | 1/15 | 10:00 | 新潟市市民会館 | 新潟市市民会館 |
| 新潟市 | 新潟市 | 新潟市 | 1/22 | 10:00 | 新潟市市民会館 | 新潟市市民会館 |
| 新潟市 | 新潟市 | 新潟市 | 1/29 | 10:00 | 新潟市市民会館 | 新潟市市民会館 |
| 新潟市 | 新潟市 | 新潟市 | 2/5 | 10:00 | 新潟市市民会館 | 新潟市市民会館 |
| 新潟市 | 新潟市 | 新潟市 | 2/12 | 10:00 | 新潟市市民会館 | 新潟市市民会館 |
| 新潟市 | 新潟市 | 新潟市 | 2/19 | 10:00 | 新潟市市民会館 | 新潟市市民会館 |
| 新潟市 | 新潟市 | 新潟市 | 2/26 | 10:00 | 新潟市市民会館 | 新潟市市民会館 |
| 新潟市 | 新潟市 | 新潟市 | 3/5 | 10:00 | 新潟市市民会館 | 新潟市市民会館 |
| 新潟市 | 新潟市 | 新潟市 | 3/12 | 10:00 | 新潟市市民会館 | 新潟市市民会館 |
| 新潟市 | 新潟市 | 新潟市 | 3/19 | 10:00 | 新潟市市民会館 | 新潟市市民会館 |
| 新潟市 | 新潟市 | 新潟市 | 3/26 | 10:00 | 新潟市市民会館 | 新潟市市民会館 |
| 新潟市 | 新潟市 | 新潟市 | 4/2 | 10:00 | 新潟市市民会館 | 新潟市市民会館 |
| 新潟市 | 新潟市 | 新潟市 | 4/9 | 10:00 | 新潟市市民会館 | 新潟市市民会館 |
| 新潟市 | 新潟市 | 新潟市 | 4/16 | 10:00 | 新潟市市民会館 | 新潟市市民会館 |
| 新潟市 | 新潟市 | 新潟市 | 4/23 | 10:00 | 新潟市市民会館 | 新潟市市民会館 |
| 新潟市 | 新潟市 | 新潟市 | 4/30 | 10:00 | 新潟市市民会館 | 新潟市市民会館 |
| 新潟市 | 新潟市 | 新潟市 | 5/7 | 10:00 | 新潟市市民会館 | 新潟市市民会館 |
| 新潟市 | 新潟市 | 新潟市 | 5/14 | 10:00 | 新潟市市民会館 | 新潟市市民会館 |
| 新潟市 | 新潟市 | 新潟市 | 5/21 | 10:00 | 新潟市市民会館 | 新潟市市民会館 |
| 新潟市 | 新潟市 | 新潟市 | 5/28 | 10:00 | 新潟市市民会館 | 新潟市市民会館 |
| 新潟市 | 新潟市 | 新潟市 | 6/4 | 10:00 | 新潟市市民会館 | 新潟市市民会館 |
| 新潟市 | 新潟市 | 新潟市 | 6/11 | 10:00 | 新潟市市民会館 | 新潟市市民会館 |
| 新潟市 | 新潟市 | 新潟市 | 6/18 | 10:00 | 新潟市市民会館 | 新潟市市民会館 |
| 新潟市 | 新潟市 | 新潟市 | 6/25 | 10:00 | 新潟市市民会館 | 新潟市市民会館 |
| 新潟市 | 新潟市 | 新潟市 | 7/2 | 10:00 | 新潟市市民会館 | 新潟市市民会館 |
| 新潟市 | 新潟市 | 新潟市 | 7/9 | 10:00 | 新潟市市民会館 | 新潟市市民会館 |
| 新潟市 | 新潟市 | 新潟市 | 7/16 | 10:00 | 新潟市市民会館 | 新潟市市民会館 |
| 新潟市 | 新潟市 | 新潟市 | 7/23 | 10:00 | 新潟市市民会館 | 新潟市市民会館 |
| 新潟市 | 新潟市 | 新潟市 | 7/30 | 10:00 | 新潟市市民会館 | 新潟市市民会館 |
| 新潟市 | 新潟市 | 新潟市 | 8/6 | 10:00 | 新潟市市民会館 | 新潟市市民会館 |
| 新潟市 | 新潟市 | 新潟市 | 8/13 | 10:00 | 新潟市市民会館 | 新潟市市民会館 |
| 新潟市 | 新潟市 | 新潟市 | 8/20 | 10:00 | 新潟市市民会館 | 新潟市市民会館 |
| 新潟市 | 新潟市 | 新潟市 | 8/27 | 10:00 | 新潟市市民会館 | 新潟市市民会館 |
| 新潟市 | 新潟市 | 新潟市 | 9/3 | 10:00 | 新潟市市民会館 | 新潟市市民会館 |
| 新潟市 | 新潟市 | 新潟市 | 9/10 | 10:00 | 新潟市市民会館 | 新潟市市民会館 |
| 新潟市 | 新潟市 | 新潟市 | 9/17 | 10:00 | 新潟市市民会館 | 新潟市市民会館 |
| 新潟市 | 新潟市 | 新潟市 | 9/24 | 10:00 | 新潟市市民会館 | 新潟市市民会館 |
| 新潟市 | 新潟市 | 新潟市 | 10/1 | 10:00 | 新潟市市民会館 | 新潟市市民会館 |
| 新潟市 | 新潟市 | 新潟市 | 10/8 | 10:00 | 新潟市市民会館 | 新潟市市民会館 |
| 新潟市 | 新潟市 | 新潟市 | 10/15 | 10:00 | 新潟市市民会館 | 新潟市市民会館 |
| 新潟市 | 新潟市 | 新潟市 | 10/22 | 10:00 | 新潟市市民会館 | 新潟市市民会館 |
| 新潟市 | 新潟市 | 新潟市 | 10/29 | 10:00 | 新潟市市民会館 | 新潟市市民会館 |
| 新潟市 | 新潟市 | 新潟市 | 11/5 | 10:00 | 新潟市市民会館 | 新潟市市民会館 |
| 新潟市 | 新潟市 | 新潟市 | 11/12 | 10:00 | 新潟市市民会館 | 新潟市市民会館 |
| 新潟市 | 新潟市 | 新潟市 | 11/19 | 10:00 | 新潟市市民会館 | 新潟市市民会館 |
| 新潟市 | 新潟市 | 新潟市 | 11/26 | 10:00 | 新潟市市民会館 | 新潟市市民会館 |
| 新潟市 | 新潟市 | 新潟市 | 12/3 | 10:00 | 新潟市市民会館 | 新潟市市民会館 |
| 新潟市 | 新潟市 | 新潟市 | 12/10 | 10:00 | 新潟市市民会館 | 新潟市市民会館 |
| 新潟市 | 新潟市 | 新潟市 | 12/17 | 10:00 | 新潟市市民会館 | 新潟市市民会館 |
| 新潟市 | 新潟市 | 新潟市 | 12/24 | 10:00 | 新潟市市民会館 | 新潟市市民会館 |
| 新潟市 | 新潟市 | 新潟市 | 12/31 | 10:00 | 新潟市市民会館 | 新潟市市民会館 |

表3 定期市・六斎市カレンダー

| 六斎市カレンダー | | | | | | | | | | |
|---------------|-------|--------|-------|-------|--------|-------|-----|-------|-------|--------|
| R3.11.26 吉田作成 | | | | | | | | | | |
| 日 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
| | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 |
| | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |
| 新潟市 | 新潟市 | 新潟市 | 新潟市 | 新潟市 | 新潟市 | 新潟市 | 新潟市 | 新潟市 | 新潟市 | 新潟市 |
| | 庄瀬 | 酒屋 | 大野 | 亀田 | 巻 | 新飯田 | 庄瀬 | 酒屋 | 大野 | 亀田 |
| 下越 | 関川・下関 | 五泉 | 中条 | 分水 | 安田 | 関川・下関 | 五泉 | 中条 | 分水 | |
| | 吉田 | 村上 | 津川 | 水原 | | 吉田 | 村上 | 津川 | 安田 | |
| | | | 津川 | | | | | 津川 | | |
| | | | 津川 | | | | | 津川 | | |
| 中越 | 見附 | 三条 | 見附・今町 | 加茂 | 三条・四日町 | 見附 | 三条 | 見附・今町 | 加茂 | 三条・四日町 |
| | | | 長岡・島崎 | | 長岡・中央 | | | 長岡・島崎 | | 長岡・中央 |
| | | | 長岡・北部 | | | | | 長岡・北部 | | |
| 上越 | | 高田2/7 | 直江津 | 高田4/9 | | 妙高新井 | | 直江津 | 高田4/9 | 高田2/7 |
| | | | | | | | | | | 妙高新井 |
| 5日おきではなく変則 | | | | | | | | | | |
| 三斎市などカレンダー | | | | | | | | | | |
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
| 内野 | 両津・夷 | 相川・下戸市 | | | 岩船 | | | | | 十日町 |
| 柿崎 | | | | | 新穂 | | | | | 金井 |
| | | | | | | | | | | 相川 |
| 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | |
| 柿崎 | | 両津・湊 | | 内野 | | | | | | |
| 佐和田 | | | | 岩船 | | | | | | |
| 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | |
| 柿崎 | 相川 | 両津・夷 | 栃尾 | 岩船 | | 佐和田 | | | | |
| | | | | 畑野 | | | | | | |
| 佐渡市 | | | | | | | | | | |

2-4. 地域振興実証実験（六斎市モニターツアーの実施）

(1) 必要性

今回の実証実験は以下の項目を確認する必要があり実施した。

- ・六斎市・水運と関係した町の発展に関して新潟市民に認識されているかの確認。
- ・六斎市ツアーが魅力的か否かの確認
- ・水運との関係も考慮した町歩きとセットにした六斎市ツアーが可能かの確認。
- ・六斎市ツアーが地域振興のメニューとなるか否かの確認。

(2) 実施内容（写真2 写真3）

水運と町立てとの関係が深い小須戸、亀田をモデルケースにしてモニターツアーを企画した。

時期としては、旬の野菜・果物が出回る秋、六斎市開催と土曜もしくは日曜が重なる日時設定、として小須戸六斎市(11月13日(日))、亀田六斎市(11月23日(祝日))とした。

「市報にいがたに10月号」、新潟日報(10月19日)に募集記事、新潟みなとクラブHPに募集を掲示した。

モニターツアーの行程は以下の通りである。

小須戸六斎市 800 新潟駅出発→850 小須戸六斎市 920→930 町歩き 1100→1140 解散

亀田六斎市 800 新潟駅出発→820 町歩き→900 亀田六斎市 950→1000 郷土資料館→1150 解散

各ツアーは、新型コロナ状況下、マイクロバスで対応可能な人数(小須戸六斎市10人、亀田六斎市11人)を対象に実施し、(1)の4項目に関する項目を主にアンケートを実施した。

(3) 結果と課題

参加者へのアンケート調査結果からわかった調査4項目の結果と課題は以下の通りである。

(六斎市ツアー)

- ①参加者にはツアーは好評だった。
- ②次回も参加希望したいという結果だった。

- ③ツアーに関しては「町歩き」とセットがよい。
 - ④時間的には午前中くらいが妥当である。
 - ⑤有料でもよい。昼食とセットがよい。
- 来年度も実施し、昼食を加え有料としたい。

(六斎市に関して)

- ①「六斎市自体知らない」及び「新潟が全国で最も六斎市が多いことを知らない」人がほとんどである。
- ②新潟市民でも知らない人が多く PR、六斎市ツアーは必要である。
- ③六斎市については、「雰囲気」「会話」が魅力である。
- ④改善点として、店舗数の増加、価格表示があった。
- ⑤「六斎市」との競合は「直売所」「スーパー」である。

来年度も、PR、ツアーを実施し、改善点を各「定期市」にお知らせしたい。PRとしては、来年度は新潟市民以外の東京都民を対象としたツアーも実施したい。

(水運との関係)

- ①参加者は「水運と六斎市との関係」を理解した。
- 来年度もツアー、PRを実施し理解者を増やしたい。

(地域振興)

- ①参加者は「六斎市は地域振興に役立つ」と考えた。
- ②PRと「地域との共同」が不可欠である。

来年度は、六斎市を管理する地方自治体とも共同でツアーを実施したい。あわせて共同で「六斎市の改善・振興策」「六斎市による地域振興策の検討」をしたい。

2-5. 地域振興への考察

(1)課題

以上の調査結果から「六斎市の地域振興への役割」について以下のことが判明し課題が浮かび上がった。

- ①六斎市は地域振興に役立つ。
- ②一方地域資源としての「六斎市」を地域振興の手段として各地方自治体は有効に利用していない。
- ③特に PR が不足していること、自治体と地元・出店者との協働の不足が考えられる。
- ④出店者の高齢化が大問題である。地域振興に活用する前に出店者の減少で消滅することも考えられる。
- ⑤以上の認識から是非とも地方自治体による PR、自治体と地元・出店者との協働、出店者の高齢化対策等が重要である。
- ⑥六斎市調査や六斎市ツアー参加者へのアンケートからわかったこととして「道の駅」や「農産物直売所」との競合が大きな課題であることもわかった。

(2)実施内容

出店者の減少に関し、「道の駅」「農産物直売所」との比較や新潟における観光 PR、葛塚市・松浜市の出店者年齢分析を行った。



写真2 新潟日報 11月14日新聞記事

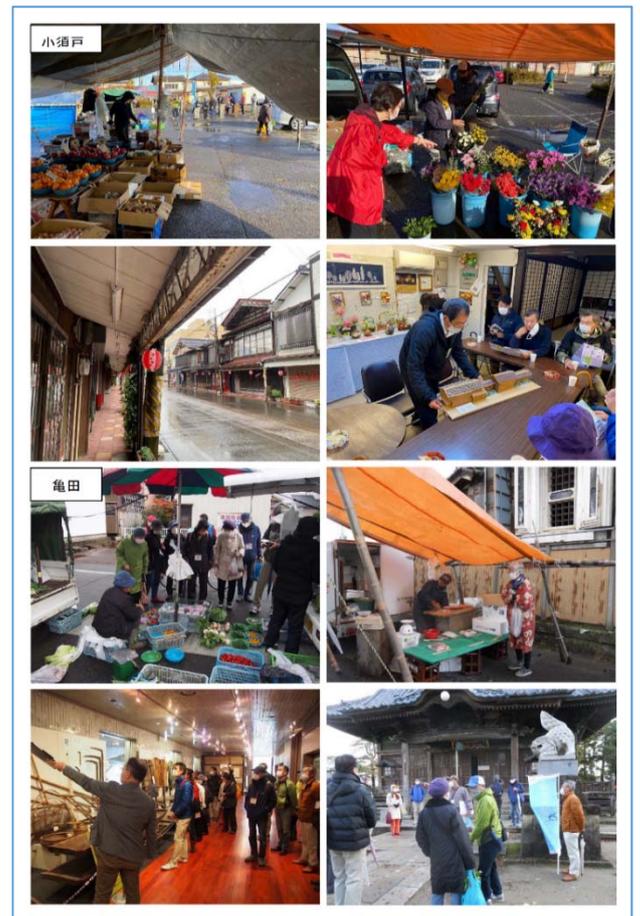


写真3 六斎市モニターツアーの様子
(上4枚 小須戸 下4枚 亀田)新潟

(3) 結果と地域振興メニューの提案

結果と課題は以下の通りである。

(「道の駅」「農産物直売所」との競合性)

①六斎市の出店店舗数と「道の駅」「農産物直売所」の登録箇所の推移、機能内容をみると、明らかに「六斎市」と「道の駅」「農産物直売所」とは競合性がある。

②六斎市の全国での位置づけや歴史性・町の成立との関係等歴史的状況、六斎市を訪れることにより我々が感じる「六斎市は新潟の独特遺産である」との文化的認識のもと、「道の駅」「農産物直売所」との「差別化」「棲み分け」を行い、振興策を検討することが必要である。

(観光 PR まとめ)

①テレビ等の旅番組の重要アイテムとするとともに、観光パンフに説明を入れることが必要である。

(出店者減少・高齢化)

①登録者以外の出店者の募集・日曜日開催の場合のマルシェ等によるこれまでの開催方法の改善や工夫、出店者へのインセンティブが必要である。併せて、出店者の意欲を増大させる来場者増大策も必要である。

(地域振興メニューの提案)

今回の調査結果をもとに、「新潟の独特遺産である六斎市を通じた地域振興メニュー」を表 4 にまとめた。

表 4 地域振興への活用のメニュー

| |
|--|
| <p>○六斎市の民族的・文化的・歴史的状況の認識(新潟県民・市民)</p> <ul style="list-style-type: none">・教育における総合学習・生涯学習における講座の充実・六斎市ツアーの実施 <p>○六斎市の PR (新潟県民・市民)</p> <ul style="list-style-type: none">・新聞・テレビ等による PR・シンポジウム開催 <p>(全国)</p> <ul style="list-style-type: none">・パンフレット作成・改良・新聞・テレビ等による PR・モニターツアーの実施 <p>○六斎市の充実</p> <ul style="list-style-type: none">・出店者緩和と募集・商品の充実・開催用地の確保と基盤整備 |
|--|

3. 今後の活動・展望

今回の調査結果は 2 冊の報告書⁴⁾⁵⁾にまとめた。

来年度以降の活動として以下に取り組み、定期市(六斎市)新潟県民全体の資産・文化財、地域振興メニューとしたい。

- ・全国調査として三河地域を調査する。
- ・六斎市ツアーを来年度も実施する。
- ・来年度は新潟市民以外の東京都民を対象としたツアーを実施する。ツアーは昼食を加え有料とする。
- ・PR、ツアーを実施し、アンケートの意見を各「定期市」にお知らせする。
- ・六斎市を管理する地方自治体とも共同でツアーを実施する。
- ・地方自治体と共同で「六斎市の改善・振興策」「六斎市による地域振興策の検討」をする。
- ・「新潟六斎市シンポジウム」を開催し、新潟県民全体の資産・文化財とする。

4. おわりに

六斎市は新潟では至極当然のように行われているのに知らない市民が非常に多いのである。今回このような機会をいただいて、県内の六斎市調査と六斎市ツアーを実施した。今回調査できたことは、現状を記録する意味でも、今後の六斎市の地域振興への活用を図る上でも意義あることと思う。これからも六斎市に関する活動を進めていきたい。

なお、この調査は(一社)北陸地域づくり協会の「北陸地域の活性化」に関する研究助成を受けています。

(2022 年 3 月作成)

参考文献

- 1) 吉田秀樹(2010):水路水位解消手段としての閘門等に関する資料収集整理:(財)港湾空港建設技術サービスセンター
- 2) 石原潤(1987):定期市の研究 機能と構造:名古屋大学出版会
- 3) 新潟港湾・空港整備事務所(2008-2011):新潟の定期市(六斎市)巡り:(越佐みなと通信)
- 4) 新潟みなとクラブ(2022):新潟の独特遺産である六斎市を通じた地域振興メニューの開発:新潟みなとクラブ
- 5) 新潟みなとクラブ(2022):六斎市調査(新潟)調査票による現況調査報告書:新潟みなとクラブ